

～障がい福祉サービスと農業のマッチングを目指す～ 小林 裕之さん(松前町)

1978年生まれ
株式会社まさきばたけ 代表取締役
ホームページ <まんまいちご園>
【<https://www.manmaichigoen.com>】
Instagram <同上>
【https://www.instagram.com/manma_ichigoen】



☆経営概況☆ (株式会社まさきばたけ)

栽培品目：レタス	110a	えだまめ	80a	ブロッコリー	20a
さといも	200a	イチゴ	10a	ネギ	10a
水稻	1000a	麦類	1000a		
労働力：本人、社員2人、パート8～13人					

☆ここがポイント☆

■就農のきっかけ

親は松前町で農業をしていましたが、**自分は全く興味がありませんでした。**
大学卒業後、精神科病院の事務員として就職し、障がいがある方たちの現状や生きづらさを学び、何とか支援したいという思いから、医療福祉総合学院入学等を経て、精神保健福祉士の資格を取得しました。

同時期に農家の高齢化や担い手不足をニュース等で知り、**障がいがある方たちが農業に就労することで、両方の問題が解決できるかも！**?と思い立ち、まずは自らが栽培技術を身につけるために農業の道に踏み込みました。

■経営の特徴

水稻や麦類の機械化・規模拡大による増収を図っていきます。
障がいがある方たちを年間通して雇用するために、夏場は水稻やエダマメ、秋から冬は、麦やレタス、ネギ、サトイモでの作業受入れを考えています。また、雨の日も雇用できるように、**観光イチゴ園**での作業環境を整え、栽培管理作業のほか、将来は接客業などへの受入れができるように準備しています。

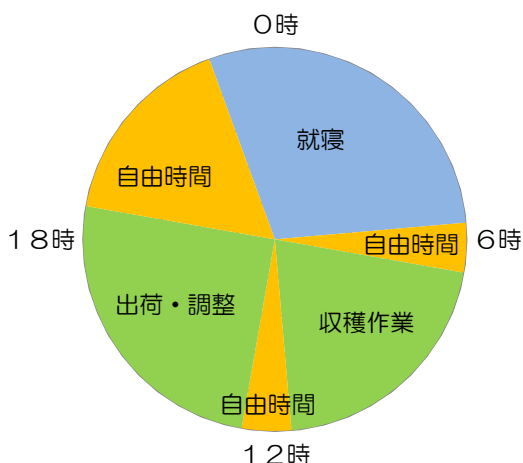


↑エダマメ脱莢作業



↑さといも収穫作業

【一日のライフスタイル（一例）】



【普段の生活について】

今は規模拡大や機械施設等を整備しながら経営の安定化を目指しているところであるため、なかなか休みが取れていないのが現状です。

そんな中ではありますが、趣味と実益を兼ねて、イチゴを使った新たな加工品開発のために、イチゴを使ったスイーツで有名なお店などを巡り、いろいろな商品を試食し研究しています。

【一週間のライフスタイル（一例）】

	月	火	水	木	金	土	日
【繁忙期】	← 収穫・出荷 →					← 休日 →	← 収穫・出荷 →
【普通期】	← 栽培管理 →					← 休日 →	



↑ 6次産業化への取組【イチゴジャム】



↑ 「農福連携」で作業受入れ

☆これからの夢や目指すもの☆

イチゴを活用した新たな商品開発・販売による6次産業化の取組や、水稻・麦類、サトイモ等の規模拡大等による地域の農地を維持しながら、農業と福祉との新たなビジネスモデルとしての「まさきばたけ」を確立したいと思います。

☆メッセージ☆

新規で農業を始めたので、資金面での苦労は大きいです。命を懸けるくらいの覚悟が必要かもしれません。ですが、農業の魅力は「やりがい」です。体を動かしたり、自然が好きな人には向いています。お金のためではなく、他に目的があるのであれば、農業をする価値はありますよ。